

第18回種子島ロケットコンテスト大会プレゼン実施要領

種子島ロケットコンテスト
大会実行委員会

1. はじめに

手作りによるモデルロケットや衛星機能モデルである CanSat を開発・製作し、打上げることによって物作りの奥深さ、面白さを体現するとともに、宇宙開発の普及啓発や地域の活性化を目的として種子島ロケットコンテストをこれまで 17回実施してきました。一昨年の第16回目のコンテストは新型コロナウイルス禍により中止し、第17回目コンテストは、新型コロナウイルス感染症の国内の状況を考慮し、オンラインでの開催となりました。

第18回目のコンテスト開催につきましては、これまで、種子島宇宙センターでの現地開催に向け準備を進めて参りましたが、令和4年に入り新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の感染者が国内において急激に増加しており、参加者やキャストをはじめとした関係各位の健康と安全を第一に大会事務局において協議させて頂いた結果、3月6日（日）より開催予定でありました第18回ロケットコンテスト大会の開催方法を「オンライン開催」に変更させていただくこととなりました。

本大会では、1) 講演会（講師：JAXA 職員）、2) ロケット部門のプレゼンコンテスト、3) CanSat 部門のプレゼンコンテスト、4) ロケット部門並びに CanSat 部門に分かれてのワークショップから構成されています。これまで種子島ロケットコンテストのご参加いただいた皆さん、並びにロケットや CanSat に関心のある皆さんにおかれましては、本コンテストに奮って応募いただき、ロケットや CanSat のものづくりへの思いを仲間と共有していただき、またこれまで育ててきたグループの絆を確かめ、さらに後継者の養成の機会としていただければ大変有難いと思います。どうぞよろしくお願い致します。

なお、応募にあたっては、各グループ内での新型コロナウイルスへの感染防止策を十分にとっていただき、各グループでの責任で飛行試験などは行っていただきますよう予めお伝え致します。

2. プレゼンの内容

日 時：2022年3月7日（月） 8：30～18:00（予定）

（第18回種子島ロケットコンテストは、午前に講演、このプレゼンの後にロケット部門及び CanSat 部門に分かれて情報交換の場としてのワークショップがあります）

方 法：Zoom 等のオンライン会議システムを使い、ロケット部門及び CanSat 部門に分かれてプレゼンを行います。

参加資格：①日本国内の高等学校、高等専門学校、大学の学生
②日本宇宙少年団本部登録リーダー
③その他社会人

プレゼン時間：1 チームあたりプレゼン 3 分間、質疑 2 分間

プレゼン内容：どのような作品（ロケット部門あるいは CanSat 部門）を作ろうとしているか、アイデアが独創的であるか、設計が妥当であるか、安全に配慮した設計であるか。（墜落や紛失の対策を含む）、技術的に高度な

ことにチャレンジしているか、(可能であれば)飛行試験や走行試験の結果、などについてプレゼンを行っていただきます。

申込方法：事務局より、参加予定チームの代表者へ申込(参加の再確認)フォームを送信するのでそちらに回答してください。

締切日は2022年2月14日(月)(時間厳守。これ以降の送付は受け付けません)とします。

プレゼン送付：締切日時(2022年2月28日(月)09:00(時間厳守。これ以降の送付は受け付けません))までに、プレゼンの資料を事務局に提出して下さい。

評価方法：審査員は、ロケット部門及びCanSat部門に分かれて設計計画書とプレゼンの資料及びプレゼンの内容及び質疑応答の内容を踏まえて総合的に評価します。審査員は種子島ロケットコンテスト技術部会のメンバーが行います。

表彰内容：ロケット部門及びCanSat部門のそれぞれについて1位から6位までを表彰するとともに上位成績のチームには副賞を贈呈します。また、表彰者は種子島ロケットコンテストのHPでも公表します。

【注意事項】

- 審査での混乱を避けるため、1機体につき1チーム=1申込とします。
- 複数機体や複数部門で参加したい場合は、メンバーが同一でも申込用紙を別にして、1機体ごとに1チームとし、代表者とチーム名(〇〇大学A, 〇〇大学B, …などで結構です)を変えて、それぞれに申し込んでください。
- 申込みできるチームは、ロケット部門及びCanSat部門を含め、1人につき、連名を含めて2チームまでとします。また、チーム代表者として応募できるのは1チームまでとします。
- 会の円滑な運営のために参加チーム数の上限を設けており、申し込み多数の場合にはこの設計計画書に基づき、事前に書類審査を行います。
- 設計計画書やプレゼンの資料は、プレゼンコンテストの後のワークショップの参考資料としても用いることがあります。
- 本大会の教育効果を高めるため、大会後に書類審査合格チームの「設計計画書」のうち、公開を辞退されたものを除いて、申し込み全チームに公開いたします。ワークショップはロケット部門とCanSat部門が同時並行に行われるので、説明を聞けなかった機体や、もっと聞きたかった細部について、理解の助けになるはずです。